



ぼらんていあ通信

3月号
通巻 No.472

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2021年3月23日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: <http://sagamiva.info/>

2週間の再延長にあたって

会長 高橋 功



関東地区1都3県の緊急事態宣言は、2週間延長され3月21日までとなりました。

理由としては収束の目途が立たず、さらに拡大の可能性も秘めているからだと思っています。

これから我々一人一人が自覚をもって三密を避け、マスク・手洗いなどを励行し、感染しない・させないよう努力する必要があります。

この延長期間中はあじさい会館の貸室は閉鎖となり、ボランティア協会もあじさい会館での会議やHC活動と傾聴活動は中止しましたが、この期間中の3月の活動について紹介します。

(1)理事会 全体会合は中止し、3月13日に正副会長会議開催。

(2)事務所 宣言延長期間中の勤務は半日勤務とする。

この間の動きとしては、

①役員選挙の投票受付

②3月24日開催の講座受付

③期末の事務整理や会計処理

④HCと傾聴の利用者への対応

⑤ボランティア協会会員登録及びHC利用会員登録の更新

⑥その他

(3)ぼらんていあ会館の取材活動及び編集、印刷・発送など

(4)3月24日講座開催

「オンライン会議の実践を学ぶ」

(5)DVD制作実行委員会 3月18日

以上の通りですが、HCや傾聴の利用者はボランティアの再開を待ちわびています。

協会事務局は3月22日から日常業務を再開し、活動を始めます。皆様にお元気づけお返しのつもりです。



お願いとおわび

役員選出管理委員会から



現在、投票期間中となっておりますが、今後のボラ協の円滑な運営のため、ぜひ投票への協力をお願いいたします(3月末日消印有効)。

ぼらんていあ通信の月号にて会員の皆様には次の理事選出にかかる候補者資料、投票用紙、返信用封筒を同封したところですが、候補者資料で一部不鮮明なところがあり、読みづらく、会員の皆様には大変迷惑をおかけしました。ここに、おわびするとともに不鮮明な候補者の情報から一部を抜粋し、掲載させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

◇渋谷さんは、こんな人(立候補届から抜粋)◇

生まれてからずっと相模原で育ち、現在も相模原在住。中学生の頃に初めてボランティアセンターを訪れ、ボランティア活動にかかわる。高校生になってボランティア協会に入会し、以来、ボラ協の活動に携わり、結婚まで続ける。一時協会を退会するが、次男が小学生の時に復帰。

現在、ほかほかふれあいフェスタ・ホール部会長。

理事として、持続可能な協会運営とボランティア活動ができる環境を目指します。

一人でも多くの方が投票されますようお願いいたします。

相模原ボランティア協会役員選出管理委員会委員長

勝部幸二



ボランティア活動グループ訪問記

「コロナ禍でも定例会や学習を続け
新しい技術や情報を取り入れている
筆記通訳サークルもみじさん



今月の「ボランティア活動訪問記」も、メールでの取材となりました。

ほかほかふれあいフェスタで、毎年一緒にイベントを企画・開催させていただいている『筆記通訳サークルもみじ』さんを訪問し、会長の山下善子さんとほかほかふれあいフェスタ担当の小飯塚敏子さんに、筆記通訳などについていろいろ伺いました。

Q1、要約筆記について簡単に教えてください。お話を要約を文字にして聴覚の不自由な人に伝えるという事は知っていますが、他には？

聞こえない方や聞こえにくい方々は手話でコミュニケーションするだけではなくいろいろな方法を使って情報を得ています。要約筆記はその方法の一つで、その場の音の情報をその場で文字にして伝えることです。



小学校での打ち合わせ

会場のスクリーンに投影して多人数に伝える方法と、少人数の利用者のそばで情報を伝える方法があります。パソコンを使う方法と紙やボードに書き添える方法があり、利用する方法のご要望に合わせて対応しています。主に難聴者や中途

失聴の方が利用されています。

Q2、会の成り立ちや名前の由来、また活動拠点などがあれば教えてください。また、会が発足したのはいつ頃でしょうか？

平成7年（1995年）11月に、社会福祉協議会主催の要約筆記ボランティア講座を修了したメンバーがサークルを立ち上げました。「もみじのようなかわいい手で書いて伝える」が会の名前の由来です。発足当時は、要約筆記ということがまだあまり認識されていなかったため、行政に講演会などに要約筆記をつけるよう働きかけたり、情報誌に活動を取り上げていただいたり、要約筆記を知ってもらうため様々な苦労があったと聞いています。

「聞こえない不安をお持ちの方々が文字情報でその場に参加する喜びと自信を得るお手伝いをする」という結成当時から変わらぬ志を受け継ぎ、努力を続けています。活動拠点は、あじさい会館の会議室等を借りて定例会を開いています。

Q3、会員は何人いらっしゃいますか？ 定期的な研修などありますか？

現在会員は37人です。要約筆記者養成講座を修了した者が主な会員ですが、難聴者や結成当時からの大先輩も在籍中です。交流を通じてノウハウや工夫、改善点などを共有しています。

毎月2回定例会を開いて情報交換や話し合いなどを行い、技術研鑽のための実技練習として音源を聞きながら書いたり、入力したり、手書きとパソコンにわかれて練習をしています。また、年に1回程度、外部から講師をおよびして講演会なども企画しています。これまで他地域で活躍する要約筆記者のお話を聞いたり、音声を遠隔で文字変換する技術を学んだりしました。

Q4、活動はどのように行われていますか？

現在、もみじとしての活動の中心は社協みんないひと体験講座です。小中学校へ難聴者と一緒に出かけて行って、生徒の皆さんに「書いて伝える」ことを体験してもらいます。毎年25校程度訪問しています。災害が起きたとき、電車が止まったとき、放送があっても聞こえない人には伝わりません。情報を書いて伝えるよう体験してもらっています。このような活動から聴覚障がいへの理解が少しずつ広まってほしいと願っています。

その他に大学で学ぶ聴覚障がい学生へのノートテイクもありますが、「コロナ禍で小中学校へも大学へも行くことが出来なくなっています。これから私たちの活動内容も変化していくと思われます。どのような形で工夫しながら続けていきたいです。」

Q5、ほかほかふれあいフェスタにも参加しているようですが、そこでできる体験などを具体的に教えてください。

ほかほかふれあいは、磁気ループの利用を拡大したので協力をということで参加したのが始まりです。聴覚障がい者支援団体の参加がそれまで無かったこと、もみじはあじさい会館で活動しているの、ここまですべて続けてきました。



2020年度ほかほかふれあいフェスタ特別イベントで



(植野)



最初は磁気ループ体験コーナーと手書きの体験コーナーでしたが、今は手書きとパソコンの体験コーナーをやっています。両コーナーとも、楽しんで体験してもらええるようにごく簡単なことを聞きながらOHCで書く、またはパソコンで入力し、それをスクリーンに映します。慣れた方なら文章を打ったり書いたりしてもらいますが、名前だけとか感想を書くとか、様々です。

広く市民の皆さんに要約筆記を知ってもらいたいので、その入り口になればと思っています。

Q6、コロナ禍で活動が大幅に制限されていて、その中でも新しい発見や前進をされているとお聞きしました。簡単にお聞かせください。

今年度は、コロナ禍で大幅に計画を変更しましたが、定例会と学習は細々と続けています。昨年7月からZoomで定例会を始めました。最初は画面上で顔を合わせるだけでも満足でしたが、今は画面共有を使いながら学習もやっています。会場が使えるときは、会場に来てくれるメンバーとZoom参加のメンバーが一緒に話し合い、技術的なことも相談することができて、良かったです。集まらないという状況のなかで、Zoomの使い方も上手になり、離れた場所においてもペアになって情報保障が出来る方法を学ぶなど、新しい技術や情報を取り入れることができました。このように意欲的に取り組む頼もしいメンバーが育っています。

Twitter

ぼらんていあ通信版

ツイッターコーナー

伊藤澄江
いとうすみえ

相模原市に移り住み35年。3人の子供たちは巣立ち、夫婦2人だけの生活となりましたが、末娘が近くに家庭を持ち、共働きで2人の子育て中なので、忙しい時には保育園のお迎えや、1日子守で預かったりと、昨年古希となった私には、体力気力とも、年々大変になってきました。それでも孫の可愛さから元気を貰い、まだまだ子供たちのためになれたらと思うのです。

ボランティア協会の研修を受けた数年前は「みんない人の文面より、私にも何かできることがあるかもしれない」との思いからでした。20年以上前にガンを告知され、手術後体重が減少と体力もなくなり、半年間家にこもりがちでした。知人により「少し仕事をしてみませんか」と勧められ、学童保育のお手伝いが始まり、1日3時間の見守りをしながら、子供たちの生き生きとした様子に元気を貰い、家族からも「お母さん、明るくなったね」と言われ、紹介して下さった知人に感謝でした。

その後、高齢者住宅での仕事も始まり、15年が過ぎ、私も高齢者になりましたが元気で。

東日本大震災から10年、世界中を襲った大災害となった新型コロナウイルス感染症による、人類全体が初めて経験する日常の変化の中、またまた予防を続けなければいけません。これからも今日一日が無事過ごせたことが、当たり前ではないことを胸に、一日一日を大切に、医療従事者をはじめ、日々厳しい状況に立ち向かっている皆のみなさんに、尊敬と感謝の思いです。



クイズに挑戦

持続可能な開発のための国際目標「SDGs（エスディーズ）」とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。

2015年9月に国連で開かれたサミットの中で、世界のリーダーによって決められた国際社会共通の目標です。

SDGsは「17の目標」と「169のターゲット（具体目標）」で構成されています。

相模原市内の小中学校でも、授業でSDGsに取り組んでいますね。では、問題です。

「17の目標」とは？

4月の記念日は？

小倉義男

4月10日、駅弁の日です。

4月は駅弁の需要拡大が見込まれる行楽シーズンであり、「弁当」の「とう」から10日、さらに「4」と「十」を合成すると「弁」に見えることから。日本鉄道構内営業中央会が1993年に制定。でも、昨年から新型コロナウイルスの感染拡大により、旅行など出来ず、駅弁は大打撃を受けていて、宅配ヘシフトを検討しているとか。駅弁復活の日を期待したいですね。

小倉画





※3月理事会は正副会長会議として開催。

1. 委員会報告

◆広報委員会・ぼら通部会

・3月号は22日印刷、23日発送。

◆事務局委員会

・正会員登録更新案内をぼらんていあ通信に掲載。
・H.C利用会員登録更新案内は別便で発送。
・22日から平常勤務の予定。

◆講座検討委員会

・「Zoom」を使つての会議の進め方」の講座を3月24日に開催する。

◆DVD制作実行委員会

・オンライン会議で内容を検討中。

◆役員選出管理委員会

・投票は3月末日消印有効。

2. 審議事項

(1) 緊急事態宣言再延長の場合の対応を検討
・H.C運行については受付は再開するが、宣言の期間は運行の休止を継続する。

(2) 予算執行状況の確認と検討

・追加の支出について継続して検討。

(3) 役員改選における担当変更について

・外部会議等についての担当変更について確認した。

3. その他

・中央ボランティアセンターは、4月から日曜日で祝日が閉所となることを確認した。

次回理事会 4月10日(土) 10時より

「コロナ禍でも開催され、ボランティア協会からも会員が参加しています。2月の相談会に参加なさった寺田さんから、様子を伺いました。」

「高齢者住まい探し相談会」の活動について

寺田 啓子

「高齢者住まい探し相談会」の概略に触れてみます。5〜6年前に、「まち協(正確には「かながわ住まいまちづくり協会」)」によって立ち上げられた活動です。「まち協」の担当者、不動産専門の宅建業者が相談に乗られます。

相談者は、事情があつて「転居」をお考えの方々です。例えば、「家族が少なくなり、今の住まいでは広すぎる」「建物の老朽化の為、大家さんが建て替えをお考えの時に、立ち退きを要求されると困る」又、「お子様の家族と同居しているが、身体の元気な間に、自由な一人暮らしをしてみたい」等々です。

主に、宅建業者の方が、夫々の相談者に適切なアドバイスをされます。具体的には、住まいを探す時に心得ておくべき事項を提示される事、県営住宅、市営住宅の説明をされる事、また、ある時は、ウィークリーマンション等々での生活を試されては?ともおっしゃいます。

毎回、皆さんは、一生懸命お聞きになり、アドバイスを参考にされるこの事です。



クイズの答え



- 1、 貧困をなくそう
- 2、 飢餓をゼロに
- 3、 すべての人に健康と福祉を
- 4、 質の高い教育をみんなに
- 5、 ジェンダー平等を実現しよう
- 6、 安全な水とトイレを世界中に
- 7、 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- 8、 働きがいも経済成長も
- 9、 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10、 人や国の不平等をなくそう
- 11、 住み続けられるまちづくりを
- 12、 つくる責任 つかう責任
- 13、 気候変動に具体的な対策を

相模原ボランティア協会 4月の予定

日	時間	内容
8(木)	13:30~	DVD 制作実行委員会
10(土)	10:00~	定例理事会
17(土)	10:00~	臨時理事会
17(土)	13:00~	事務局委員会
19(月)	13:00~	ぼら通4月号印刷
20(火)	13:00~	ぼら通4月号発行
23(金)	13:00~	広報委員会・ぼら通部会

- 14、 海の豊かさを守ろう
- 15、 陸の豊かさを守ろう
- 16、 平和と公正をすべての人に
- 17、 パートナリーシップで目標を達成しよう



理事のつぶやき

コロナ時代に思う

杉本 榮治



ボランティア協会に入会して10年、理事になってもう少して6年になります。最近DVD制作実行委員会のメンバーとなり、その中でボランティア協会発足の趣旨書を読む機会があり、その高邁な考え方に改めて感激しました。この6年間理事として何かできたろうかと考えるとき赤面せざるを得ません。

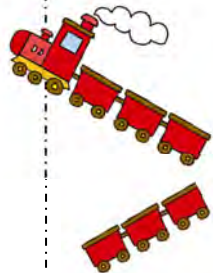
主担当であるハンディキャブに関していえば、最大の課題である運転ボランティアの増強のためポイント制度を作りましたが、大きな成果は無く相変わらず利用者の制限を余儀なくされている状況です。高齢化社会にあつては受益者を何人で支えるかという従来から予測されている問題に対する一つの解はボランティアを増やし分母を大きくするしかないと思っています。こんなことはボランティア協会のメンバーには釈迦に説法ですね。

新型コロナウイルス感染症の蔓延で社会が明らかに変わってしまいましたね。ソーシャルディスタンスを取れ、不要不急の外出をするな... 社会の最も基本的な事項を制限しなければならぬ社会となってしまいました。

ハンディキャブも傾聴も利用者には申し訳ないと思いつつ、緊急事態宣言下では万が一のことを考え中止となってしまいました。本来はこういう時にこそ力になってあげたい... と思いつついます。

昨年の春から地域の自治会連合会では微酸性次亜塩素酸水を配布しています。市でも一時配布していましたが、その効果に対する評価が定まらないこともあつて中止になりました。我が自治会では最初の2カ月は自治会加入戸数の6割程度の配布を行いましたが、その後急減し最近では1割程度となっています。元々アルコール消毒液が入手できないという状況下でその代替えとして登場したので、アルコール消毒液が入手できる現在では手指の消毒と言いつ味は薄れたのだと思います。現在では手指の消毒の他、マスクの除菌（臭い取り）やドアノブの除菌、生ごみの臭い取り等に使われているということです。自治会に関係する者としては何とか工夫して役立ててほしいと思っています。

碁、将棋を覚えると親の死に目に会えないと母から聞いたことがあります。まさしくその通りで、もう一局、もう一手と時間を忘れ... と言いつつになります。但しコロナの時代にはこれほど良い過こし方はないですね。私の囲碁との係りは会社に入ってから先輩に半強制的に覚えさせられたのが始まりです。その後転勤等で囲碁とは離れていましたが、定年退職後暇を持て余し、地域のクラブに入り毎週1回通つようになりました。そして約8年、コロナの時代に入ってから毎日2時間以上碁盤を囲む生活が続いています。しかしながら囲碁をやっているかつたら毎日家で何をしていたらどう思うのでしょうか。



あじさい会館では オフィスクライマーズを実施中!



オフィスクライマーズとは、階段の壁や踊り場などに登山をイメージさせる自然の風景写真を掲示し、登山感覚で階段を登る環境を作り、エレベーターよりも階段を利用したくなる行動を引き出して、健康づくりの習慣化を目指すものだそうです。

相模原市でも神奈川県と協働し、あじさい会館エレベーター横の階段でオフィスクライマーズを実施しています。

誰もが笑って生き生きと暮らすため、また末病改善の取り組みのためにも、あじさい会館にお出かけの時には、階段を歩いてみてください。

なお、期間は3月末（予定）ですが、健康維持のためにも、階段などはなるべく歩いて昇降したいですね。



～ 中央ボランティアセンターの開所時間変更のお知らせ ～

令和3年4月1日より、中央ボランティアセンターは日曜日と祝日がお休みになります。
新しい開所日時は次のとおりです。

月～金曜日：午前9時～午後7時 土曜日：午前9時～午後5時 （日曜・祝日は休み）

ボランティアに関する相談、車椅子の貸出し、ボランティア活動保険加入等の受付は、日曜日・祝日以外でお願い致します。

※日曜・祝日に貸し室を利用する場合は、管理事務室で鍵を受け取れます。



連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所：電話 042(759)7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター：電話 042(786)6181

メール svc@sagamiharashishakyo.or.jp



《今月のイラスト
…お兄ちゃん
お餅がぶくらんでいるよ！》

ご寄付をありがとうございました

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に
に使わせていただきます。

＜2月の寄付者＞

1名の方からご寄付をいただきました。

＜2月の寄付金＞

総額 70,000 円でした。



会員登録のお願い

会員登録につきましては事情により、例年
より1か月遅れとなりましたが、登録手続き
の受付を4月1日から始めます。

事務局（あじさい連絡所）、または同封の
郵便振込で会費を納入いただくことにより
更新手続きができます。

ご住所等、登録内容に変更のある方は併せ
てご連絡下さい。

よろしく願います。

事務局



編集後記

3月11日は東日本大震災10年になりました
が、この日は『ぼらんていあ通信編集日』
でした。

地震の揺れと同時に「階段を使って1階に
降りてください」とアナウンスがあり、様
子がわからず家に帰りました。

今年度はコロナ禍で活動は中止の1年
でしたが、平穏な生活はいつのことでしょ
う。

（杉）